

横浜市東永谷地域ケアプラザ関連資料

1 施設の概要

(1) 施設名称

横浜市東永谷地域ケアプラザ（以下「地域ケアプラザ」という。）

(2) 開所年月

平成9年6月

(3) 開館等

ア 開館時間

月曜日から土曜日 午前9時から午後9時まで

日曜日・祝日等 午前9時から午後5時まで

イ 休館日

年末年始（1月1日から3日まで及び12月29日から31日まで）

ただし、毎月1回、特定の日を施設設備の保守点検等にあて、利用に供さないことができる（現在：第3月曜日）。

<その他>地域ケアプラザ閉館時（夜間及び休館日）の相談について

閉館時の地域包括支援センターにおける電話相談は、横浜市が別途委託する法人への電話転送等により、委託先が対応します。

なお、緊急対応が必要な場合等には、地域ケアプラザの緊急連絡先に連絡があります。

(4) 建物概要

R C造（一部鉄骨造）地上2階（横浜市東永谷地区センター合築）

(5) 面積（詳細は「資料5 地域ケアプラザの面積持分・管理区分等」参照）

敷地総面積 3, 0 2 6 . 8 6 m²

建物延床総面積 2, 8 0 2 . 5 1 m²

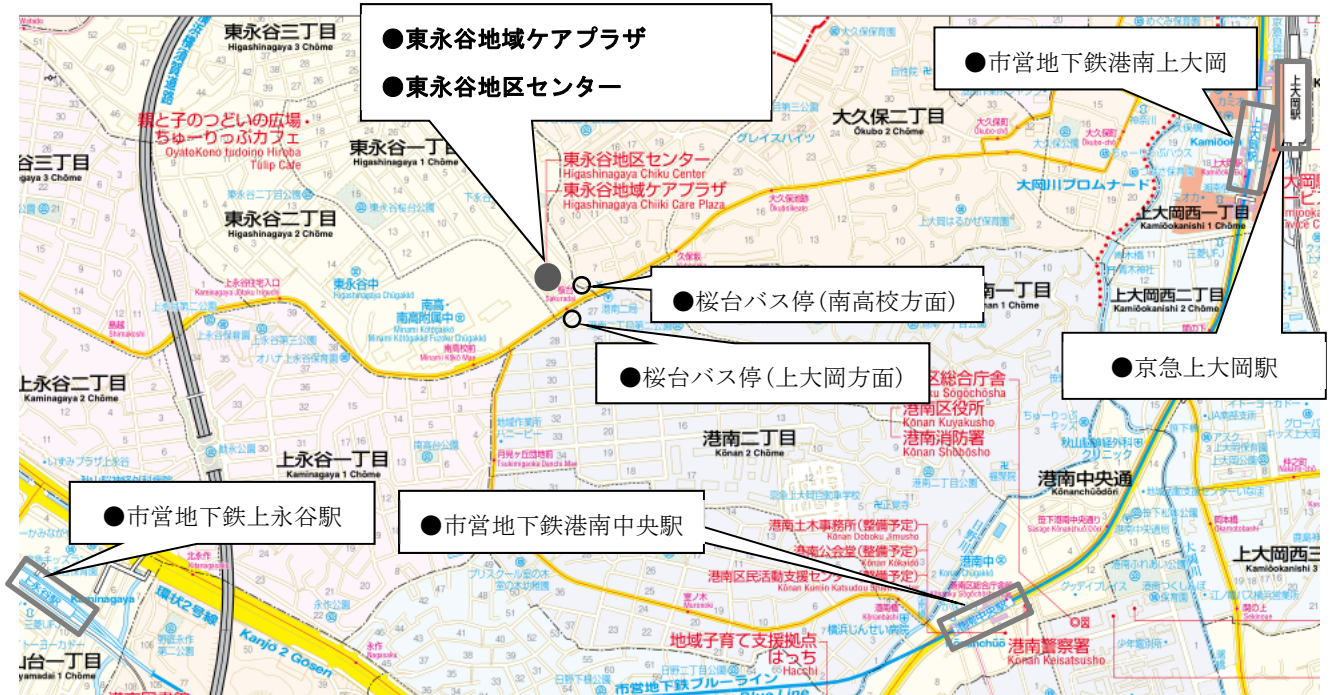
ケアプラザ面積 1, 0 5 9 . 9 1 m²（共用部分の持ち分を含む）

(6) 管理について

「資料3 諸室の面積・備品等」「資料4 保守点検に関する事項等」等を参照

(7) 案内図・平面図等

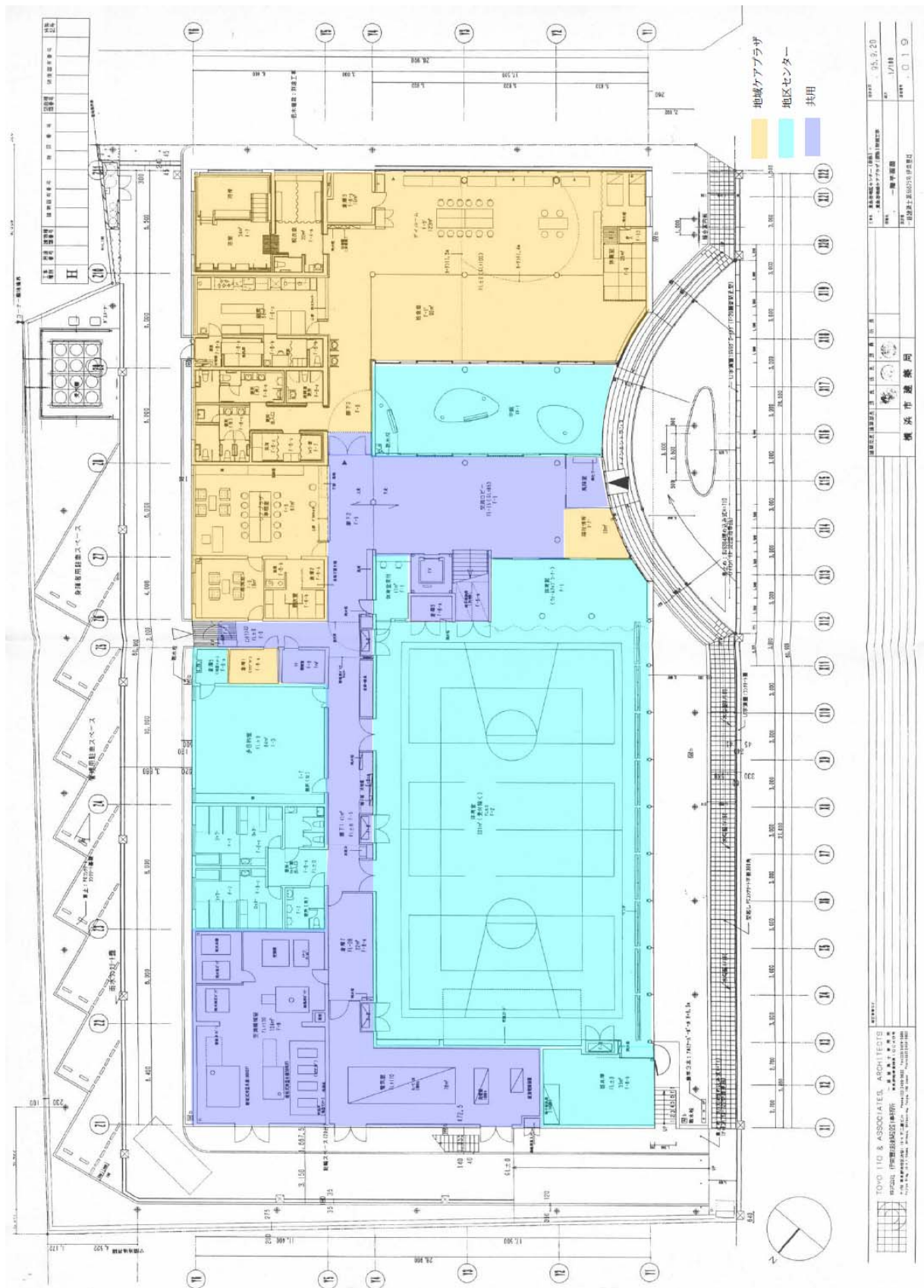
ア 案内図



京浜急行・市営地下鉄「上大岡駅」より京浜急行バス「南高校行き」(1番乗り場)10分、
バス停「桜台」下車 徒歩1分。

イ 平面図

<1階>



〈 2 階 〉



設計者	建築師事務所	建築士番号	建築士登録番号
監理者			
施工者			
検査者			
検査者			

TOYO ITO & ASSOCIATES, ARCHITECTS
 〒100-0001 東京都千代田区千代田2-1-2
 TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112

横浜市建築局

図面番号: 02-020
 図面名称: 二階 平面図
 縮尺: 1/100
 作成日: 2009.05.20
 作成者: 山本 勇司

(8) 複合施設としての留意点

本地域ケアプラザは、横浜市東永谷地区センター（以下「地区センター」という。）と一体的に整備されており、地区センターと連携して施設管理をすることが必要です。（管理に関する覚書参照）

2 地域ケアプラザ担当圏域における基礎情報

(1) 基礎データ（令和元年9月現在）

ア 地区・町名

大久保1～3丁目、最戸1・2丁目、上永谷1～3丁目、東永谷1～3丁目

イ 人口

31,542人（男性：15,331人、女性：16,211人）

ウ 世帯数

14,965世帯

エ 年齢別人口

（単位：人）

	15歳未満	15歳～64歳	65歳以上	
				75歳以上
港南区全体	24,276	129,716	61,132	32,511
東永谷地域ケアプラザ圏域	3,647	19,878	8,017	4,433

オ 自治会・町内会

大久保最戸連合町内会、永野連合町内会の一部、永谷連合町内会の一部

カ 地域防災拠点

東永谷中学校、下永谷小学校、桜岡小学校、相武山小学校、永野小学校

キ 学区

港南中学校、南が丘中学校、東永谷中学校、丸山台中学校、上永谷中学校、
下永谷小学校、桜岡小学校、丸山台小学校、相武山小学校、永野小学校

ク 地区内の主な施設（社会資源）

東永谷地区センター、南高等学校、南高等学校附属中学校、
親と子のつどいの広場ちゅーりぷカフェ 等

ケ 地区における主な地域活動

ハートのあるまちづくり（歩こう会、ハートカフェ、ぶちカフェ、落語でハートカフェ）、
茶卓（助け合いグループ）、配食サービスボランティア「てまり」、みはる子どもひろば

コ 担当圏域

地域包括支援センターの担当圏域は、次のホームページで確認してください（地域ケアプラザの新規開所等によって担当圏域が変更になる場合があります。）。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/fukushi-kaigo/koreisha-kaigo/otoiawase/chiikihoukatsu.html>

(2) 主な計画等

計画名	URL
横浜市地域福祉保健計画	https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/fukushi-kaigo/chiikifukushi/hokenkeikaku/chiikifukushihoken-keikaku-4/shikeikaku-4.html
港南区地域福祉保健計画 (地区別計画含む。)	https://www.city.yokohama.lg.jp/konan/kurashi/fukushi_kaigo/chiikifukushi/fukushi-plan/plan.html ※令和3年度より第4期港南区地域福祉保健計画を推進することとなります。
横浜市高齢者保健福祉計画・ 介護保険事業計画	https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/fukushi-kaigo/koreisha-kaigo/kyogikai/chiikihoukatsu-care/jigyoukeikaku.html
横浜市障害者プラン	https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/fukushi-kaigo/fukushi/plan/3rd_plan.html
横浜市子ども・子育て支援 事業計画	https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/org/kodomo/sonota/shingikai/kosodate/newplan.html
港南区政運営方針	https://www.city.yokohama.lg.jp/konan/kusei/uneihoshin-yosan/unei/
港南区防災計画	https://www.city.yokohama.lg.jp/konan/kurashi/bosai_bohan/saigai/bousaikeikaku.html
福祉避難所・運営マニュアル	※本マニュアルは、ホームページに掲載していないため、現地見学会で配付します。

3 地域ケアプラザの実施事業

(1) 全事業共通

ア 地域福祉保健のネットワークの構築

地域の関係団体・機関と連携を図り、地域福祉保健を推進するためのネットワークの構築を行います。また、地域福祉保健計画を推進します。

イ 総合相談

高齢者、子ども及び障害者等の福祉・保健等に関する相談を総合的に受け付けるとともに、情報提供、サービス調整、一般行政サービスの申請代行及び介護保険に関する苦情相談受付等を行います。

ウ 運営協議会の設置・運営

地域の福祉・保健・医療の関係者、住民組織、利用者の代表者及び行政機関等で構成する「運営協議会」を設置し、地域のニーズや意向を反映した効果的な運営を行います。(年2回以上開催)

(2) 地域ケアプラザ運営事業

ア 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

地域住民の福祉活動、保健活動等の支援及びこれらの活動・交流の場の提供を行います。

イ 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域の福祉保健活動団体及び人材等の社会資源に関する情報を把握し、必要に応じて地域に情報提供します。また、把握した情報から地域ニーズを汲みとります。

ウ 自主企画事業

高齢・障害・子育て等の地域ニーズを基に自主事業（ボランティア講座、健康教室及び介護教室等各種講座の開催等）を実施し、地域の課題解決につなげます。

エ ボランティアの育成及びコーディネート

地域の担い手育成のため、ボランティア希望者のコーディネート並びにボランティア発掘及び育成を行います。

(3) 生活支援体制整備事業

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく日常生活を営むことができる地域包括ケアシステムの実現のため、多様な主体が連携・協力し、高齢者の生活支援や介護予防、社会参加が充実した地域づくり（体制整備）を進めます。

ア 多様な主体による地域活動・サービス等の実態把握・整理・分析等

高齢者の生活支援、介護予防、社会参加に資する、住民主体の地域活動や、生活支援サービス等の実態を把握・整理し、高齢者のニーズに対して必要な資源を分析します。

イ ネットワークの構築と生活支援、介護予防、社会参加の充実に向けた取組

多様な主体間の連携体制（ネットワーク）の中で、必要な活動・サービスを創出し、又は継続・発展させるための具体的な企画立案を行うため、次の各項目に取り組みます。

(ア) 多様な主体間の情報共有・連携体制の構築

(イ) 地域が把握している情報（地域ニーズ）や課題の把握

(ウ) 地域づくりにおける意識の統一

(エ) 主体的な取組に向けた地域・団体等への働きかけ（地域課題についての問題提起、課題に対する取組の具体的協力依頼、多団体の参加依頼等）

(4) 地域包括支援センター運営事業

地域包括支援センターでは、介護保険法で定められた、地域住民の保健医療の向上及び福祉の推進を包括的に支援する役割を担う中核的機関として、保健師等、主任介護支援専門員等及び社会福祉士等が各専門性を生かして相互連携しながら、次の事業にあたります。

ア 総合相談支援業務

高齢者に関する初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援、その実施にあたって必要となる地域のネットワークの構築、地域の高齢者の実態把握を行います。

イ 認知症支援事業

認知症については、各種業務の中で、認知症の人や家族への視点を重視し、支援に取り組みます。

個別の相談支援、早期対応、介護者支援や、認知症サポーター養成講座等を通じた普及啓発、見守り体制や集いの場づくりの支援等を進めます。

ウ 権利擁護業務

権利擁護は、成年後見制度の利用促進、老人福祉施設への措置の支援、高齢者虐待の未然防止のための普及啓発及び早期発見・対応、養護者支援、及び消費者被害の防止等のサービス調整等を行います。

エ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務等

(7) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域のケアマネジャーが個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的ケアマネジメントを実践できるよう、ケアマネジャー、主治医及び地域の関係機関等との連携・協働の体制づくりや個々のケアマネジャーに対する相談支援等を行います。

(4) 在宅医療・介護連携推進事業

在宅医療連携拠点等と協力し、ケアマネジャーに対しケアマネジメントに必要な医療の知識を習得するための研修等を実施することにより、医療機関及び介護事業所等の関係者の連携を推進します。

オ 地域ケア会議

地域ケア会議は、多職種の協働のもと、高齢者の自立支援に資するケアマネジメントを支援し、地域の方々も含めた地域で高齢者を支えるネットワークを構築するとともに、具体的な地域課題やニーズを必要な社会基盤整備につなげていく一つの手法です。個別ケース地域ケア会議、包括レベル地域ケア会議を開催し、地域ケア会議の機能である個別課題の解決、地域包括支援ネットワークの構築、地域課題の発見、地域づくり・資源開発、政策の形成につなげます。

カ 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）

要支援1・2、事業対象者の方を対象にした目標志向型の介護予防・支援サービス計画作成及び目標達成の評価等の介護予防ケアマネジメント業務を行います。

キ 一般介護予防事業

横浜市の方針に沿って、講演会、健康教育等の介護予防に関する普及啓発及び介護予防に資する地域活動を行う組織の支援を行います。

ク 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

包括的支援事業を効果的に実施するために、介護サービスに限らず、地域の保健・福祉・医療サービス、ボランティア活動及びインフォーマルサービス等の様々な社会資源が有機的に連携できるためのネットワークの構築を行います。

(5) 居宅介護支援事業

指定居宅介護支援事業者として、居宅サービス計画の作成、関係機関との連絡・調整及び給付管理等を行います。

(6) 通所系サービス事業

介護保険指定事業者として、在宅で援護を必要としている高齢者等に、日帰りで入浴、食事の提

供、機能訓練、健康チェック、送迎等の通所介護、地域密着型通所介護又は第1号通所事業を行います。

なお、指定管理業務として通所系サービス事業を提供する場合には、通所介護（利用定員19人以上）を実施する規模を想定して施設を整備していることから、当面の間、指定管理業務としての通所系サービス事業を実施するにあたり、地域密着型通所介護のみの実施はできないものとします。

ただし、認知症高齢者を対象に、認知症対応型通所介護又は介護予防認知症対応型通所介護を併せて行うことも可能です。

(7) その他

地域ケアプラザ協力医に関する業務他

地域ケアプラザ実施業務一覧

運営業務	福祉活動・保健活動等の支援
	福祉活動・保健活動等の交流のための施設の提供及びこれに伴う施設の利用者の調整
	福祉、保健等に関する講習会及び講座等の開催
	福祉、保健等に関する相談及び情報の提供
	福祉サービス及び保健サービス等の提供に関する調整
	地域福祉保健計画の推進
	多様な主体による地域活動・サービス等の実態把握・整理・分析
	ネットワークの構築と生活支援、介護予防、社会参加の充実に向けた取組
	地域包括支援センターで実施するよう定められている事業
	地域包括支援センターで実施する介護予防事業
	介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業（居宅要支援被保険者に係るものに限る）の提供
	居宅介護支援事業の提供
	通所系サービス事業の提供
	地域ケアプラザ運営協議会の運営
	地域ケアプラザ協力医との連携
	利用料金、使用料金の徴収業務及び利用者把握業務
	使用料金収納業務
その他地域福祉保健に関する業務	
維持管理業務	施設管理業務
	清掃・除草業務
	警備業務
	駐車場管理業務
	建築物・設備、機器等保守業務
	環境衛生業務
	建築物及び付帯設備の修繕業務
	その他維持管理業務

地域包括支援センター職員の資格要件等について

1 保健師その他これに準ずる者※¹

「その他これに準ずる者」とは、「経験のある看護師」です。また、「経験のある」とは、「地域ケア、地域保健等の経験の趣旨であり、病棟経験や急性期医療の経験の趣旨ではない」とされており、「高齢者に関する公衆衛生業務経験を1年以上有する者」されています。

なお、看護師には准看護師は含まれないものとなっています。

2 社会福祉士その他これに準ずる者※¹

「その他これに準ずる者」とは、「①福祉事務所※²の現業員等の業務経験が5年以上又は②介護支援専門員の業務経験が3年以上であり、かつ、③高齢者の保健福祉に関する相談援助業務に3年以上従事した経験を有する者」とされています。

3 主任介護支援専門員その他これに準ずる者※¹

「その他これに準ずる者」とは、「ケアマネジメントリーダー活動等支援事業の実施及び推進について」（平成14年4月24日付け老発第0424003号厚生労働省老健局長通知）に基づくケアマネジメントリーダー研修を修了し、介護支援専門員としての実務経験を有し、かつ、介護支援専門員の相談対応や地域の介護支援専門員への支援等に関する知識及び能力を有している者」とされています。

また、募集しても主任介護支援専門員の応募がなく、主任介護支援専門員の欠員が生じる事が明らかな場合は、主任介護支援専門員の欠員による地域包括支援センターの市民サービス低下を避けるため、暫定措置として、直近の「主任介護支援専門員研修」受講を条件として、受講資格を有する者（ケアマネ実務経験5年以上など）の配置を認めることとします。

※1：1～3の「その他これに準ずる者」については、経過措置となっていますが、この経過措置の期間に関しては、「当分の間」とされており、現時点で具体的な期限は示されていません。（厚生労働省の見解）

※2：「福祉事務所」とは、横浜市においては「福祉保健センター」となっているため、通常、職員を募集する場合は、①に該当しない可能性が多いため注意をしてください。

諸室の面積・備品等

※備品については別添「東永谷地域ケアプラザ備品台帳」をご覧ください。

※備品については、公募時より変動する可能性があります。(単位：㎡)

室名		1階	2階	計	備品等
地域ケアプラザ専用部分	(相談調整部門)				
	事務室	62.93		62.93	机、テーブル、椅子、コピー機、パソコン、ロッカー、電話、FAX、冷蔵庫、シュレッダー等
	相談室	18.00		18.00	テーブル、椅子等
	情報コーナー	10.66		10.66	テーブル、椅子、パンフレットラック、展示ケース等
	福祉機器展示室				
	地域ケアルーム		25.84	25.84	テーブル、椅子等
	ヘルパーナースルーム		26.15	26.15	
	小計	91.59	51.99	143.58	
	(デイサービス部門)				
	デイルーム	236.95		236.95	
	デイルーム	122.84		122.84	ダイニングテーブル、椅子、長椅子、ソファベッド、ベッド、マットレス、布団一式、書架、ホワイトボード、カラオケセット等
	給食室	89.70		89.70	
	休養室	24.41		24.41	
	厨房	50.40		50.40	食器、調理器具、トレー等
	浴室	33.09		33.09	シャワーベンチ、洗面器、ロビーベンチ、脱衣かご、洗濯機、乾燥機等
	脱衣室	21.51		21.51	
	洗濯室	9.53		9.53	
	トイレ	32.43		32.43	
	倉庫	20.52		20.52	
	小計	404.43		404.43	
	(地域交流部門)				
	多目的ホール		112.07	112.07	会議用テーブル、椅子、ホワイトボード、椅子用台車等
	調理室		21.86	21.86	ワゴン、冷蔵庫、炊飯器、電子レンジ、食器、調理器具等
ボランティアルーム		46.35	46.35	テーブル、椅子等	
トイレ		18.29	18.29		
倉庫		20.81	20.81		
小計		219.38	219.38		
併設施設共用部分	電気室	29.15		29.15	
	機械室	39.35		39.35	
	倉庫	10.99		10.99	
	廊下・階段・EV等	147.72	65.31	213.03	
	小計	227.21	65.31	292.52	※内、217.58㎡は、合築施設との共有部分になります
合計	723.23	336.68	1,059.91		

保守点検に関する事項等

指定管理者は下表の保守点検等を実施することとします。下表に記載のない事項であっても、法令・規則等で定められている点検等については、指定管理業務として適切に実施することとします。

項目		内容	点検頻度・回数	経費負担割合 (%)	
				地域 ケアプラザ	地区 センター
保守点検	清掃	日常清掃	毎日	(各施設負担)	
		定期清掃	月1回	36	64
		調理室の清掃 (グリストラップ含む)	月1回	36	64
		窓ガラス清掃 等	年6回	36	64
	植栽保守	除草・剪定・刈り込み	随時	36	64
	機械警備	機械警備	通年	36	64
	排水管清掃	排水管清掃	年1回	36	64
	昇降機保守	昇降機保守 ※建築基準法 12 条 4 項の定期点検含む	月1回	36	64
	自動ドア保守	自動ドア保守	年4回	36	64
	消防設備保守	消火器具	年2回	36	64
		誘導灯	年2回	36	64
		非常警報設備 (放送設備)	年2回	36	64
		自動火災報知設備	年2回	36	64
		ガス漏れ火災報知設備	年2回	36	64
	空気調和等関連機器保守	空調機点検及びフィルター清掃	年6回	36	64
		空調機械室内清掃	年2回		
		ファンコイルユニット点検・フィルター清掃	年6回		
		エアコン室内機点検・フィルター清掃 全熱交換機点検・フィルター清掃	年6回		
	設備総合巡視点検	受変電設備	月1回	36	64
	冷暖房機器関係保守	冷温水発生機点検整備 (季節切替・夏冬)	年2回	36	64
冷却塔点検整備 (シーズン中月1回)					
自家用電気工作物保守	自家用電気工作物の保安管理業務、高圧受電源設備の点検	年2回	36	64	
害虫駆除	害虫駆除	年2回	36	64	
ポータブル小型発電機保守	ポータブル小型発電機の保守点検	適時	100	0	
修繕	小破修繕	専用部分	随時	各施設で管理し 経費負担	
		共有部分	随時	都度協議により経費負担	

※定めのない事項については、両者でその都度協議します

<資料5>

地域ケアプラザの面積持分・管理区分等

1 建物区分

(単位：㎡)

施設名	床面積	面積	
		専有面積	共有面積
横浜市東永谷地域ケアプラザ	1,059.91	842.33	217.58

2 財産区分

(1) 土地

全体市所有地は、港南区福祉保健課と港南区地域振興課の共管となっています。

専有面積割合に比例して、1,189.25㎡は港南区福祉保健課所管の港南区財産、1,837.61㎡は港南区地域振興課所管の港南区財産です。

(2) 建物

建物の区分として、横浜市東永谷地域ケアプラザ1,059.91㎡は港南区福祉保健課所管の港南区財産、横浜市東永谷地区センター1,742.60㎡は港南区地域振興課所管の港南区財産です。(「別表1 建物の財産区分」のとおり)

3 施設管理

施設の管理区分及び経費負担は、資料4及び別表2のとおりとします。

ただし、共有部分の施設整備にかかる日常管理は、両施設の協力のもと、実施するものとします。

<別表1>建物の財産区分

	所管施設	階数	室名
専有部分	地域ケアプラザ	1階	事務室、厨房、介助浴室、給食室、デイルーム、休養室、情報コーナー
		2階	ボランティアコーナー、調理室、多目的ホール、ヘルパーナースルーム、地域ケアルーム
	地区センター	1階	体育室、体育室受付、器具庫、更衣室、多目的室
		2階	事務室、ロビー、図書コーナー、プレイルーム、グループ室、中小会議室、和室、工芸室、娯楽コーナー
共有部分	各施設	1階	交流ロビー、エレベータ機械室、玄関共用ホール、ピロティ、風
		2階	除室、機械室、電気室、便所、煙突、消火栓置場
		ほか	エレベータ、階段

<別表2>管理区分

項目		管理主体	内容												
日常管理	専有部分	各施設	各施設で管理し、経費負担を行う												
	共有部分	地域ケアプラザ	両者でその都度協議により経費負担を行う												
	敷地管理	地域ケアプラザ	両者でその都度協議により経費負担を行う												
光熱水費	専有部分	地域ケアプラザ	ガス・水道 電気 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>地域ケアプラザ</td> <td>地区センター</td> </tr> <tr> <td>ガス</td> <td>62</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>水道</td> <td>70</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>電気</td> <td>39</td> <td>61</td> </tr> </table> 各施設の事務を取りまとめて行い、以下の割合に応じて経費負担を行う。		地域ケアプラザ	地区センター	ガス	62	38	水道	70	30	電気	39	61
				地域ケアプラザ	地区センター										
ガス	62	38													
水道	70	30													
電気	39	61													
共有部分															
委託 保守 業務 点検	専有部分	各施設	各施設で委託し、経費負担を行う												
	共有部分	両施設	各施設は資料4の割合に応じて経費負担を行う												
統括防火管理者		地域ケアプラザ	施設ごとに防火管理者を配置する												
修繕	専有部分	各施設	各施設で管理し、経費負担を行う												
	共有部分	地区センター	両者でその都度協議により経費負担を行う												

<資料6>

ウェブアクセシビリティに関する仕様書

1 趣旨

本仕様書は、横浜市東永谷地域ケアプラザ（以下「地域ケアプラザ」施設という。）の指定管理者が、地域ケアプラザ施設のウェブサイトを設置、更新及び管理するにあたり、ウェブアクセシビリティの確保に向けて実施すべき内容及び履行方法について定めることを目的とする。

2 ウェブアクセシビリティの確保について

(1) 適合レベル及び対応度

JIS X 8341-3:2016 のレベル AA に準拠すること。

※ 本仕様書における「準拠」という表記は、情報通信アクセス協議会ウェブアクセシビリティ基盤委員会（以下「WAIC」という。）の「ウェブコンテンツの JIS X 8341-3:2016 対応度表記ガイドライン 2016 年 3 月版」で定められた表記による。

※ JIS X 8341-3:2016 のレベル AA に準拠することが、技術的に達成困難である場合等は、例外事項を設定し、(3)で策定したアクセシビリティ方針に追記すること。

(2) 対象範囲

指定管理者として設置、更新及び管理する地域ケアプラザのウェブページのすべて

(3) アクセシビリティ方針の策定について

総務省の「みんなの公共サイト運用ガイドライン」及び WAIC の「ウェブアクセシビリティ方針策定ガイドライン」に基づき、ウェブアクセシビリティ方針を策定すること。

(4) ガイドラインの作成について

各団体の掲載コンテンツの特徴やページ作成ソフトなど運用の条件に基づき、ウェブアクセシビリティ対応の方針や対応の重要性、作成のルールなどをガイドラインにまとめること。

(5) 試験前の事前確認について

HTML、CSS の作成段階において、達成基準への対応状況を確認すること。テストツール (miChecker 等) による判定が可能な検証項目については、ツールを使用し、対応状況を確認すること。

(6) 試験の実施について

ア 「みんなの公共サイト運用ガイドライン」及び WAIC の「JIS X 8341-3:2016 試験実施ガイドライン」に基づき、試験を実施すること。

イ 試験の実施においては、テストツールによる判定だけでなく、人間による判断も行うこと。

ウ 試験実施の対象範囲

(ア) 総ページ数が 40 ページ未満である場合

全ページ

(イ) 総ページ数が 40 ページ以上である場合

当該ウェブサイトからランダムに抽出した、次のページを含む 40 ページ

a トップページ

b サブディレクトリ直下の代表ページ(sub-content/index.html 等)

- c アクセシビリティに関連するページ
 - d 利用者からの問い合わせを受け付けるページ（存在する場合）
- (7) 達成基準チェックリスト及びその検証方法を特定できる技術的根拠（以下「実装チェックリスト」という。）の作成について
- 「みんなの公共サイト運用ガイドライン」及び「JIS X 8341-3:2016 試験実施ガイドライン」に基づき、次のチェックリストを作成すること。
- ア 達成基準チェックリストの作成について
- WAIC の「達成基準チェックリストの例」を参考に、各項目の試験結果を記載した達成基準チェックリストを作成すること。
- イ 実装チェックリストの作成について
- 「JIS X 8341-3:2016 試験実施ガイドライン」の「3.1 達成方法及びその検証方法を特定できる技術的根拠を示す方法の例」を参考にして実装チェックリストを作成すること。
- (8) 試験結果の不備の修正について
- 達成基準チェックリストの各項目の試験結果について不備等が発覚した際には、速やかに該当箇所を修正し、再度試験を実施すること。
- (9) ウェブアクセシビリティ方針及び試験結果のページの作成及び公開について
- ア ウェブアクセシビリティ方針及び試験結果のページの作成について
- (3)で策定したウェブアクセシビリティ方針を掲載するページを作成すること。また、(7)-アで作成した達成基準チェックリストを基に、試験結果を掲載するページを作成すること。
- イ ウェブアクセシビリティ方針及び試験結果のページの公開について
- (9)-アで作成したページを公開すること。なお、ウェブアクセシビリティ方針を掲載するページは、当該サイトのトップページ又は地域ケアプラザの情報を掲載しているページから2クリック以内にたどりつけるよう、フッター等にリンクを設置すること。

3 参考ページ

- (1) JIS 規格詳細画面（次の URL から「JIS 検索」の規格番号に「X8341-3」と入力し、一覧表示）
<https://www.jisc.go.jp/index.html>
- (2) みんなの公共サイト運用ガイドライン
http://www.soumu.go.jp/main_content/000439213.pdf
- (3) WAIC の公開しているガイドライン一式
 - ア ウェブコンテンツの JIS X 8341-3:2016 対応度表記ガイドライン
<http://waic.jp/docs/jis2016/compliance-guidelines/201603/>
 - イ ウェブアクセシビリティ方針策定ガイドライン
<http://waic.jp/docs/jis2010/accessibility-plan-guidelines/201308/index.html>
 - ウ JIS X 8341-3:2016 試験実施ガイドライン
<http://waic.jp/docs/jis2016/test-guidelines/201604/>
 - エ 達成基準チェックリストの例
http://waic.jp/docs/jis2016/test-guidelines/201604/gcl_example.html